

学部・研究科 Faculty/Graduate School	商	時間割コード Course Code	40725
科目名 Course title	データサイエンス	授業形態/単位 Term/Credits	秋/2
サブテーマ Subtitle		クラス Class	
担任者名 Instructor	李振	曜日 Day/Period	木3

授業概要 Course Description 到達目標 Course Objectives	<b>授業種別 / Teaching Types</b>
	講義 (対面)
	<b>言語 / Language</b>
	日本語(Japanese)
	<b>授業概要 / Course Description</b>
	この講義の目的は、RとRStudioをツールとして用い、データのハンドリング、可視化、モデリング、および統計的推測等の様々なデータサイエンスの技法を実践的に習得することである。 また、実際の演習を通してデータサイエンスの分析プロセスと考え方を体験し、統計的仮説検定とその科学的アプローチの重要性を理解する。
	<b>学位授与方針との関係 / Related Diploma Policy</b>
	(商学部) 1.知識・技能 ③専修に関わる専門知識の修得。 2.思考力・判断力・表現力等の能力 ①ビジネス・経済・社会に対する広い視野と鋭い洞察力をもつ。 ②企業倫理と社会的責任を深く認識し、品格をそなえたリーダーシップと「考動力」を発揮できる。 3.主体的な態度 自ら諸問題を発見し、主体的かつ柔軟に取り組むことができる。
	<b>到達目標 / Course Objectives</b>
	1. データ構造、データ処理の基礎知識を理解し、基礎的なスキルを身につける。 2. データの性質と分析目的に合わせて、可視化やモデリングできる。 3. 分析ソフトを道具として用い、データの可視化やモデリングを再現できる。 4. 統計推測の考え方を理解し、分析の出力結果を解釈し、報告できる。 5. 講義で学んだ分析手順を理解し、独自の課題に応用できる。
	<b>授業手法 / Teaching Methods</b>
	・ 教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック ・ 学生同士の意見交換 (グループ・ペアワーク、ディスカッション、ディベート等含む) ・ 課題探究 (プロジェクト学習、課題解決型学習、ケーススタディ等含む)
授業計画 Course Content	<b>授業計画 / Course Content</b>
	第1回ガイダンス：データサイエンスとは 第2回 RとRStudioの使い方 第3回データサイエンスの基礎 (1) -- データの可視化 (1) 第4回データサイエンスの基礎 (2) -- データの可視化 (2) 第5回データサイエンスの基礎 (3) -- データハンドリング (1) 第6回データサイエンスの基礎 (4) -- データハンドリング (2) 第7回データモデリング (1) -- 回帰モデルの基礎 第8回データモデリング (2) -- 多様な回帰モデル 第9回データサイエンスと統計的推測 (1) -- サンプリング 第10回データサイエンスと統計的推測 (2) -- ブートストラップ法 第11回データサイエンスと統計的推測 (3) -- 区間推定 第12回データサイエンスと統計的推測 (4) -- 仮説検定 第13回データサイエンスと統計的推測 (5) -- 統計モデルとその解釈 第14回データサイエンスの応用: データでストーリーを語ろう 第15回総括
	<b>授業時間外学習 / Expected work outside of class</b>
	授業資料、教科書、ノートを読み返し、授業内容の理解に努めるよう復習をすること。
成績評価の方法・基準・評価 Grading Policies / Evaluation Criteria/ Assessment Policy	<b>方法 / Grading Policies</b>
	定期試験を行わず、平常試験(小テスト・レポート等)で総合評価する。 個人課題30%、グループ課題30%、最終レポート40%
	<b>基準・評価 / Evaluation Criteria・Assessment Policy</b>
	データサイエンスの基礎を身につけ、独自に処理・分析できる能力を習得しているかを評価する。
教科書 Textbooks	備考 / Note=====
参考書 References	講義資料を配布する
**蔵書検索へ** <a href="#">Kansai University Library Catalog</a>	I. Chester & Y. K. Albert Statistical Inference via Data Science: A Modern Dive into R and the Tidyverse CRC Press W. Hadley & G. Garrett R for Data Science O'Reilly
フィードバックの方法 Feedback Method	
担任者への問合せ方法 Instructor Contact	
備考 Other Comments	